

【話すこと【やり取り】】今回新しく設定された「話すこと【やり取り】」の領域においては、28NCには学年に1回ずつUSE Speak【会話】のコーナーがあります。2年Lesson 4では、町のレストランや余暇の過ごし方、休みの予定などについて、ペアで会話をします。この活動では、思考力・判断力・表現力を駆使して、相手が言ったことを確認しながら会話を広げて、長く話し続けるように指導することができます。

## どう評価する？

評価に関する参考資料は、2019年11月以降に、国立教育政策研究所から提示されるようですが、執筆時（2019年10月末）までに公開されている資料からわかることをまとめます。

新しい学習指導要領と生徒指導要録における**観点別学習状況評価の観点**は、資質・能力の3つの柱に合わせて「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなります。このうち「思考・判断・表現」については、「各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうか」を評価します。

これまでの4観点は、「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」に分かれており、「表現」が話すこと・書くこと、「理解」が聞くこと・読むことに対応していました。今度の学習指導要領では5つの領域が設定されているなど、異なる点はもちろんありますが、このふたつの観点を合わせたものが、「思考・判断・表現」の観点だと捉えると理解しやすいかもしれません。

「思考・判断・表現」の観点となって**新しく加わった要素**は、3つあります。

- ① コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じていること
- ② 理解した情報や考えを活用すること
- ③ 表現するだけでなく、伝え合うこと

つまり、「思考・判断・表現」を評価する際は、これらのことを生徒ができていないかを評価する必要があります。そのためには、即興性を求めるなど言語活動をこれまでよりも「高度化」し、それに対応したパフォーマンス評価などを行うことが求められます。

具体的にどのような評価が求められ、実行可能かどうかを考えるのは、みなさんと一緒に11月以降に公開される参考資料を待ちたいと思います。

## SSD 三省堂

三省堂 教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 TEL 03(3230)9411(編集)・9412(営業)

■大阪支社	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3	TEL 06 (6341) 2177
■名古屋支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31協和丸の内ビル2F	TEL 052 (953) 9211
■九州支社	〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1	TEL 092 (531) 1531・1532
■札幌営業所	〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1ラスコム15ビル3F	TEL 011 (616) 8722



No.1 英語教育改革 —Now and Then— 根岸 雅史

No.2 思考力・判断力・表現力 松沢 伸二

No.3 主体的・対話的で深い学び 竹内 理

No.4 新学習指導要領施行に向けた授業改善 日臺 滋之

No.5 小中高の連携 今井 裕之

# 思考力・判断力・表現力

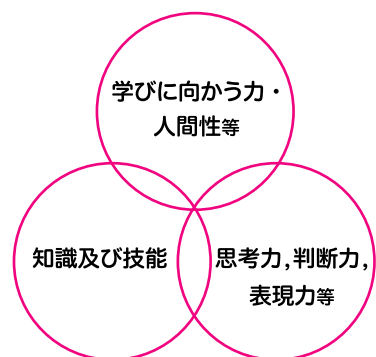


松沢 伸二 (新潟大学)

## 思考力・判断力・表現力とは？

### 教科横断的に育てる力

新しい学習指導要領では、育成を目指す資質・能力の3つの柱として、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」が示されました。



それぞれの柱は、教科等を横断して育成されるものと、各教科で育成されるものに分けられます。

まず、教科横断的な「思考力、判断力、表現力等」とは、学校教育法第30条第2項において、「知識及び技能」を活用して課題を解決するために必要な力」と規定されています。生徒がいずれ未知の状況におかれても、その状況に対応できるようにするために必要とされる資質・能力です。

また、中央教育審議会が2016年12月に

出した「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(p.30)に立ち返ると、未知の状況に対応するために「思考力、判断力、表現力等」を用いる過程の中で、以下のことができることが重要だと述べられています。

- ▶ 新たな情報と既存の知識を適切に組み合わせ、それらを活用しながら問題を解決したり、考えを形成したり、新たな価値を創造していくために必要となる **思考**
- ▶ 必要な情報を選択し、解決の方向性や方法を比較・選択し、結論を決定していくために必要な **判断** や意思決定
- ▶ 伝える相手や状況に応じた **表現**

### 外国語科で育てる力

各教科の学習指導要領では、それぞれの教科等の本質や、教科等で固有の個別の知識やスキルに関連した形で、上記の「思考力、判断力、表現力等」がより具体的な文言で示されています。

外国語科では、まず目標のうちのひとつが「思考力、判断力、表現力等」の育成に関わるものとして掲げられています。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

さらに、学習指導要領の「2 内容」の中に、以下のことを身に付けることができるように指導することが書かれています。

- ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして **必要な情報や考えなどを捉えること**。
- イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして **事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること**。
- ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに **事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと**。

## どう指導する？

具体的にどのように「思考力、判断力、表現力等」を英語の授業の中で育てることができるのか、現在使われている平成28年度版英語教科書 *NEW CROWN* (以下28NC) を例に考えてみましょう。

### 読むこと・聞くこと

【読むこと】 USE Readの3rd Readingで指導することができます。例えば、2年Lesson 6 “My Dream” では、健のスピーチ原稿を読み、その内容を要約する活動が用いられています。読み取った内容をメモなどにまと

めることは、わたしたちが普段から自然に行っている活動ですが、その際に、書かれている内容の中で、特に大事な点を思考・判断し、選択できることがとても重要です。この3rd Readingを活用して、生徒が正しく思考力や判断力を駆使できるように指導することができます。

【聞くこと】 28NCには学年6回ずつLet's Listenのコーナーがありますが、特に「話し手が伝えたいことを聞き取る」活動が活用できます。2年Let's Listen 5では、留守番電話のメッセージをメモにまとめます。USE Readと同様に、「これが新しいな」「これは大事かもしれない」と思ったことを思考・判断する力を育てられる活動です。

### 話すこと・書くこと

【話すこと[発表]／書くこと】 2年Lesson 5 USE ReadにあるThinkという課題では、ウルルについて書かれたコラムを読んで、その内容について自分の意見を述べさせます。読み取った内容を受けて適切な意見を述べる際には、思考力や判断力の活用が求められます。また、聞き手に自分の意見に賛同してもらるように、表現を工夫することも求められます。

USE ReadのThinkすべてにこのような課題が設定されているわけではありませんが、すでに教科書の中にあるリーディングテキストに、このような課題を用意することで、「イ」の内容を身に付けさせる指導を行うことができます。また、読んだ英文について簡単な感想や意見を書く指導も、意見等を話すことと同様に、USE Readで行うことができます。